

# Weekly Bulletin 2013-2014



RI会長  
ロンD. パートン



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

## 静岡東ロータリークラブ

会長/高柳正雄 幹事/高田雅司

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
高柳正雄

## 第 2662 回例会

(夜間例会・観桜会)

平成 26 年 4 月 3 日 天候 雨

《司会》 高田雅司 君

### 《会長挨拶要旨》



桜の花言葉は「精神美」。華やかで美しく、どこか気高さを感じさせます。咲いたと思ったらたちまち散ってしまう、その潔さ、はかなさが象徴的です。

花見は奈良時代の貴族の行事が起源だといわれます。奈良時代には中国から伝来したばかりの梅が鑑賞されていましたが、平安時代に桜に代わります。「万葉集」には桜を詠んだ歌が 40 首、梅を詠んだ歌が 100 首程度みられますが、10 世紀初期の「古今和歌集」ではその数が逆転しています。

開花期間の短さ、散り際の華やかさにより、人の命の儚さにもなぞらえられます。そのためか古来より桜は人を狂わせるといわれることもあります。

この時期、急に思わぬ寒い日が訪れることがあります。「寒の戻り」と言われますが、「花冷え」とも呼ばれます。桜にまつわる言葉の一つ一つに趣があります。桜は日本の文化や日本人の精神風土に最も深く関わってきた花木と言って過言ではありません。

桜には 200 以上の種類があり、日本の桜の約 80% はソメイヨシノです。その歴史は意外に浅く、江戸時代に伊豆半島のオオシマザクラとエドヒガンの交配によって生まれた品種です。ということは、平安貴族の花見、秀吉の醍醐の花見ではどんな桜が彩ったのか、想像するだけで楽しくなります。

桜について、司馬遼太郎が面白い話を紹介しています。「桜は一年 365 日のうち 10 日ほどしか咲かないがその 10 日の中で 1 日だけ、それも朝の一瞬に不思議な光を放つときがある。それを見るのは、桜守にだけ許された特権であろう」と。

私は、桜のその瞬時の輝きを、一度でいいから見てみたい。今日一日、短い時間ですが観桜会をお楽しみください。

### 《観桜会》 場所：浮月楼

天候は生憎の雨模様でしたが、浮月楼庭園の雨にしっかりと濡れる桜を鑑賞しながらの、楽しい懇親会となりました。美味しいお食事に加え、塚本会員から銘酒「喜平」の差し入れや、二組の素敵な演奏もあり、大いに盛り上がりました。最後は「手に手つないで」を全員で合唱して楽しい会を閉宴としました。親睦グループの皆さん、運営ありがとうございました。

### 《司会》



### 《乾杯》



### 《演奏》



ローさん



ノッツオブアート

### 《懇親会》





## 浅 畑 川 清 掃 奉 仕 活 動

静岡東ロータリークラブ社会奉仕活動の一環事業である浅畑川清掃活動は今年で 20 周年を迎えました。今年花曇りの 3 月 29 日(土)午前 9 時 30 分、当クラブ会員・家族を中心に、NPO 法人「麻機湿原を保全する会」「南沼上柴揚げ保存会」のメンバーや、恒例となった静高建設の社員・車両奉仕のご協力と、リコージャパン、松坂屋の社員など 59 名が集い、菜の花の咲き誇る浅畑川の清掃に協力しあいながら心地よい汗を流しました。



曾根リーダーと高柳会長の挨拶と説明



菜の花畑の清掃活動



大きい粗大ゴミを運び出す高田幹事



暗渠のゴミを片付ける曾根リーダー



大村委員長の締めと御礼の挨拶



松坂屋特製のお弁当に微笑む参加者